

令和元年 兵庫区地域包括支援センター運営協議会 議事要旨

- 1 日 時 令和元年7月17日(水) 午後2時00分～午後4時00分
- 2 場 所 兵庫区役所地階 第2・3集会室
- 3 運営協議会議事
 - 1) 開 会
保健福祉部長挨拶、委員紹介
 - 2) 議題
 - (1) あんしんすこやかセンターの運営状況(平成30年度)
 - ・平成30年度 実績報告
 - ・介護予防ケアマネジメント対象者が要介護状態となった場合の取り扱いについて
 - ・あんしんすこやかセンターからの活動報告
 - (2) 令和2年度 地域包括支援センター公募について
 - (3) あんしんすこやかセンター事業計画書
 - (4) 地域包括ケア充実のための事業目標(非公開)
 - (5) 特定事業所へのサービス集中率(非公開)
- 4 閉 会

【質疑応答・意見】

■ 議題(1) あんしんすこやかセンターの運営状況(平成30年度)

- ☆ 地域ケア会議の参加者を見ると、三師会が出席できていない会議があるのは、最初から声をかけてもらっていないのか？
- 〔回答〕上半期に実施した地域ケア会議では、個別事例などのテーマに応じてあんしんすこやかセンターが参加者を選定しており、三師会への声かけがなされておりました。昨年度の運営協議会(第1回)でも同様の御意見をいただき、改めて三師会から事務局を通じて積極的に参加したい意向を確認しました。その結果、下半期は三師会の皆様へ開催連絡を欠かさずに行い、ほぼ全ての会議に参加いただいております。
- ☆ サービス担当者会議などでも、医師は敷居が高いのか声をかけてもらえない。医療と介護の連携が大切と言われるなか、主治医として意見を述べる機会として、声をかけて欲しい。
- ☆ 簡易宿泊所が集中している地域では、民生委員が一人では訪問することを躊躇う住宅もある。また、高齢者施設(サ高住)に入所している高齢者も見守りの対象となっている。そういった

施設では、定期的に介護サービスの利用や施設ごとでの見守りが入っているため、見守り対象者から外すなど負担を軽減することも検討してもらいたい。今年度は、民生委員の改選もある中で、後任者の不足が問題となっている。

〔回答〕簡易宿泊所など、民生委員が一人で訪問しにくい世帯は、あんしんすこやかセンター職員が同行するなどの対応もなされております。

- ◇ 施設側では、高齢者が生活にあった施設を選択するための情報を伝えることが難しい。高齢者のライフスタイルも多様であり、あんしんすこやかセンターなどとの連携が必要と感じている。
- ◇ 男性の居場所づくりなどの交流の場が増えてきている。あんしんすこやかセンターと区社協が協力して居場所づくりなどに取り組んでいる。
- ◇ 区薬剤師会では、66歳と65歳の方にフレイルチェックを実施している。10年後も元気で過ごそうという趣旨で行なわれている。しかし、65歳では元気な方も多く、相談に至りにくい状況もある。
- ◇ 相談に来るのはもっと高齢者で、65歳の方はまだ職を探しておられる方もいる。

■ 議題（2）令和2年度地域包括支援センター公募について

- ◇ 兵庫区に8センターは多いのではないかと。当院の来院者でも、他の圏域に住んでいる患者が多い。どのセンターに相談したらよいかわかりにくいことがある。3センターで良いのでは。
- ◇ あんしんすこやかセンターでは、介護予防や基本チェックリストなどの業務が増えている。圏域が広がることで職員の負担が大きくなるのではないかと。
- ◇ 職員の配置を多くすることで、現在は1名ずつしか配置できていない職種であっても複数名での対応が可能となる。現場では、人材育成や休暇等の取得がしやすくなる利点もあるのではないかと。

■ 議題（3）あんしんすこやかセンターの事業計画書